

きのくに コミュニティ スクール

Vol.14
橋本市

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校（コミュニティ・スクール）とそれを支える既存の「共有コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。

橋本市のコミュニティ・スクールは、平成31年度に全小中学校に学校運営協議会を設置し、基本的には中学校区に設置している共有コミュニティ（地域学校協働本部）との一体的推進に向けて、学校・家庭・地域・行政がつながり合いながら、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を目指しています。そこで、橋本市教育委員会では、行政の伴走支援の1つの取組として、令和5年度から「橋本市学校運営協議会連絡協議会」「橋本市共有コミュニティ推進協議会」を合同開催し、①橋本市の方向性の共有、②各中学校区・市内の情報共有、③研修による情報提供を3本柱に、共有から協働へつながるように、取り組んでいるところです。



▲協議会の合同開催



▲はしぼう

熟議を要に ～語り、深める～

橋本市教育委員会では、熟議を深めるために各校の必要に応じて、担当職員を学校運営協議会に派遣しています。

紀見小学校では、昨年度「地域と学校が一緒になってできること」というテーマで熟議を行い、キーワードを見える化し、それをもとに子供たちにつけたい力を明確にし、学校運営協議会委員と協働し、地域とのつながりづくりのためにKimiMartを定期的で開催しています。具体的には、地域の方に支えてもらって育てた農作物などと、アルミ缶・ベルマークなどを交換し、地域住民と子供が触れ合い、子供にまなざしを向ける機会を作っています。

また、応其小学校では、学校運営協議会で「児童の学力向上」について熟議を行い、低学年を中心とした放課後学習教室を実施しています。指導員は、コーディネーターや学校の呼びかけで元教員や地域の方が、指導員として集まってくれました。放課後学習教室だけでなく、保護者のボランティアの方が2年生の九九暗唱を聞く「九九チャレンジ」にもつながりました。

このように、既存の活動も含めて「何のために必要か」ということを、熟議を要として、地域や学校にふと立ち止まって考えてもらうようにしています。



▲放課後学習教室（応其小学校）



▲KimiMart（紀見小学校）



▲KimiMartゆるキャラ～紀見わん～

ネットワークづくり ～知り、つなぐ～

社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメントリーフレットの活用や、市民に共有コミュニティや学校運営協議会を知ってもらうための共有コミュニティ通信（全戸配布）、協働のまちづくりに向けた地域住民（学校運営協議会委員、コーディネーター、ボランティア等）と教員が参加できる研修会（ESDプログラム等）を開催しています。

また、中学校区で共有ミニ集会（拡大大学校運営協議会）を開催しているところもあり、「育てたい子供像」や「地域学校協働活動のあり方」を熟議しています。



▲カリキュラム・マネジメントリーフレット



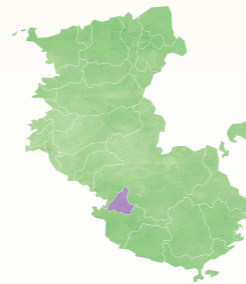
▲共有コミュニティ通信



▲偶田中学校区リーフレット

きのくに 教育めぐり

上富田町 教育委員会



和歌山県南西部に位置する「上富田町」。町の中心部を清流・富田川が流れています。町のヤマモモは、甘酸っぱさと独特の香りがあり、旬の時期が短い「ヤマモモ」ですが、加工品で親しまれています。



教育長挨拶

上富田町教育委員会
教育長
みやうち かずひろ
宮内 一裕



上富田町では「すすんで考える子・心豊かに活動する子・▲ひょうたんせんばい体をきたえる元気な子・ふるさとを誇りに思う子・視野を広く持つ子」をめざす子供像とし、地域の教育力を活かし、学校・家庭・地域が協働して、町全体で子供たちの成長を支えています。

また「だれもが健康で、生きがいのある充実した生活を送り、豊かな人生を楽しむ」ことができるような社会を目指して、生涯学習に基づく教育目標を定め、生涯学習の推進に取り組んでいます。

本に親しむ環境づくり ～様々な世界に触れ、豊かな心を育むために～

上富田町では読書活動の推進、本に親しむ環境づくりを進めています。管内小中学校では、町立図書館や読みきかせボランティアの活用をはじめ、保護者や教職員が協力し、使い勝手や居心地のよい図書館を創る等様々な取り組みを進めています。

また「読書マラソン」や「きいちゃん読書手帳」の活用等、読書記録や感想を書く活動にも力を入れています。

選書についても、教職員だけでなく、子供たちの投票によって本を選び購入する「選書会」を行う事例など、子供の読書意欲を高める工夫が取り入れられています。

各校とも限りある予算を有効に活用するとともに、地域と連携したり、各種団体事業を活用したりしながら蔵書の充実や豊かな読書活動を進めています。

本が子供たちの居場所を創り、豊かな心を育ててくれることを願い、今後もアイデアを出しながら取り組みを進めたいと考えています。



生馬公民館事業「寺子屋塾」

当町には4つの地区公民館があり、親子ハイキングや工作教室など各地区公民館で特色ある事業を展開しています。

「寺子屋塾」は、平成21年に「きのくに共有コミュニティ推進事業」の一環として開設された生馬公民館の特色ある活動の1つです。

生馬小学校児童を対象に、毎週水曜日の放課後に硬筆指導等を行っています。地域ボランティアの皆さんが、硬筆指導の補助や自由遊びなどで、子供たちと積極的に関わってくれています。まさに、地域の力を活かし、学校・家庭・地域が協働して、地域全体で子供たちの成長を支えています。

